

## 平成27年度第4回SPODネットワークコア運営協議会 議事次第

日時：平成27年8月4日（火） 12：30～13：30

場所：愛媛大学 校友会館2階 サロン

議題：

### 1. SPOD事業評価について

- ・平成26年度SPOD事業評価委員会からの指摘事項に対する対応について（案）【資料1-1】
- ・事業評価委員会からの指摘事項に対する対応について（各コア校からの意見まとめ）  
【資料1-2】
- ・平成26年度SPOD事業の評価について 【参考資料1-1】
- ・SPOD将来構想ワーキンググループまとめ 【参考資料1-2】
- ・事業評価委員会からの指摘事項に対する対応について（各コア校からの提出シート）  
【参考資料1-3】

### 2. SPODフォーラムについて

- ・SPODフォーラム2015の申し込み状況について（学校別） 【資料2-1】
- ・SPODフォーラム2015の申し込み状況について（プログラム別） 【資料2-2】
- ・SPODフォーラム2015ポスターセッション申込一覧 【資料2-3】
- ・SPODフォーラム2015チラシ 【参考資料2】

### 3. 平成28年度における負担金の算定方法について

- ・平成28年度の負担金算定に係る平成27年5月1日現在の教職員数調査について  
【資料3-1】
- ・SPOD加盟校教職員数回答票 【資料3-2】

### 4. 新任教員研修の開催について

- ・学生の学びを支援する授業準備ワークショップ実施要項&チラシ 【資料4-1】
- ・よりよい授業のためのFDワークショップ実施要項 【資料4-2】

### 5. 平成27年度職員のための講師養成講座について

- ・平成27年度職員のための講師養成講座アンケート結果 【資料5】

### 6. 「大学人・社会人としての基礎力養成プログラム」見直しワークショップについて

- ・「大学人・社会人としての基礎力養成プログラム」見直しワークショップアンケート結果  
【資料6】
- ・「大学人・社会人としての基礎力養成プログラム」見直しワークショップ実施要項【参考資料3】

### 7. その他

## 平成26年度SPOD事業評価委員会からの

## 指摘事項に対する対応策について（案）

## ■事業評価委員会からの意見まとめ

※第2回ネットワークコア会議資料1-1参照（参考資料1-1）

## ■H26 事業評価委員会からの指摘事項のポイント（キーワード）

1. 将来構想WGの議論の実質化，メンバーの拡大
2. FD・SDを提供できる人材を育成する事業の考え方
3. 事業の量的な継続から質的な精選の検討（事業見直し），分類見直し
4. 各大学でのSPOD事業の位置付け
5. 効果検証，単年又は複数年の目標設定評価

（参考）H25 事業評価委員会からの指摘事項のポイント（キーワード）

1. 事業の精選，事業マップ作成，SPODの目的・目標再設定
2. 省力化，負担軽減，負担分散
3. 各加盟校の状況把握
4. 効果検証，評価指標，経年評価

## ■今後の対応について

SPODでは「設立から6年を迎え，SPOD事業の方向性を見直す必要がある」との指摘を受け（平成24年度事業評価委員より），平成25年度末に「SPOD将来構想ワーキンググループ（以下，将来構想WG）」を設置し，平成26年度末に将来構想ワーキンググループのまとめを作成した。

今回事業評価委員からいただいたご意見は，将来構想WGにおいて検討課題としてあげられている事項と重複するものが多い（平成26年度SPOD将来構想ワーキンググループ資料参照）（参考資料1-2）。今年度は，いただいたご意見を踏まえ，ワーキンググループで整理した検討事項の具体的な方向性を議論することで，事業評価への対応としたい。

## ■平成26年度第2回ネットワークコア会議での意見交換の内容

- これまでSPODとして研修で取り上げてきたことは，マイクロ・ミドル・マクロで言えばマイクロのレベルが多かったと思うが，今後の方向性をどう考えるか。
- SDの講師養成について，参加している職員は必ずしも研修講師になることを目的としていないので，運用を検討してもらいたい。
- SDの講師養成自体は良いとは思いますが，外部からは，それ自体が目的化しているとみえてしまうとの指摘に対して，考え方を整理する必要があるのではないか。
- 事務局の負担を含めて，運営を考えていかなければならない。私立大学を含めて拡大将来構想WGを開催してはどうか。

## ■各コア校からの意見まとめ

※資料1-2参照

## SPODフォーラム2015の申込み状況について(学校別)

平成27年7月30日現在

	学校名	教員	職員	学生/大学院生	その他	計
1	徳島大学	5	4	0	0	9
2	鳴門教育大学	0	2	0	0	2
3	香川大学	2	5	0	0	7
4	愛媛大学	27	21	0	0	48
5	高知大学	10	13	0	0	23
6	香川県立保健医療大学	0	0	0	0	0
7	愛媛県立医療技術大学	8	0	0	0	8
8	高知県立大学・高知短期大学	5	9	0	0	14
9	高知工科大学	3	13	0	0	16
10	四国大学・四国大学短期大学部	5	5	0	0	10
11	徳島文理大学・徳島文理大学短期大学部	3	15	0	0	18
12	高松大学・高松短期大学	0	5	0	0	5
13	聖カタリナ大学・聖カタリナ大学短期大学部	3	33	0	0	36
14	松山大学・松山短期大学	8	8	0	0	16
15	松山東雲女子大学・松山東雲短期大学	2	18	0	0	20
16	徳島工業短期大学	6	1	0	1	8
17	香川短期大学	4	0	0	0	4
18	今治明德短期大学	6	7	0	0	13
19	環太平洋大学短期大学部	0	0	0	0	0
20	高知学園短期大学	3	1	0	0	4
21	阿南工業高等専門学校	1	0	0	0	1
22	香川高等専門学校	0	0	0	0	0
23	新居浜工業高等専門学校	1	0	0	0	1
24	弓削商船高等専門学校	1	0	0	0	1
25	高知工業高等専門学校	0	1	0	0	1
	合計	103	161	0	1	265

加盟校	103	161	0	1	265
加盟校外	83	114	0	4	201
合計	186	275	0	5	466

SPODフォーラム2015の申込み状況について(学校別)

平成27年7月30日現在

学校名	教員	職員	学生/大学 院生	その他	計
1 愛知教育大学	0	2	0	0	2
2 横浜国立大学	0	1	0	0	1
3 鎌倉女子大学	1	0	0	0	1
4 関西学院大学	0	1	0	0	1
5 関西国際大学	0	4	0	0	4
6 岐阜大学	1	0	0	0	1
7 京都薬科大学	2	3	0	0	5
8 京都学園大学	0	1	0	0	1
9 九州女子大学	1	1	0	0	2
10 県立広島大学	1	6	0	0	7
11 公益財団法人 大学コンソーシアム京都	0	2	0	0	2
12 広島工業大学	1	4	0	0	5
13 広島国際大学	8	4	0	0	12
14 広島修道大学	0	2	0	0	2
15 高崎健康福祉大学	0	1	0	0	1
16 芝浦工業大学	6	4	0	0	10
17 神戸大学	0	0	0	1	1
18 神戸学院大学	1	1	0	0	2
19 武庫川女子大学	0	1	0	0	1
20 大垣女子短期大学	1	0	0	0	1
21 大阪大学	0	1	0	0	1
22 大阪府立大学	0	4	0	0	4
23 大阪府立大学工業高等専門学校	0	1	0	0	1
24 大阪樟蔭女子大学	0	3	0	0	3
25 追手門学院大学	1	3	0	0	4
26 鳥取短期大学	0	1	0	0	1
27 帝京短期大学	1	0	0	0	1
28 東京電機大学	0	1	0	0	1
29 東京都立産業技術高等専門学校	3	0	0	0	3
30 東京理科大学	3	1	0	0	4
31 東京経済大学	1	1	0	0	2
32 創価大学	0	3	0	0	3
33 関東学院大学	2	0	0	0	2
34 関東学院大学	0	0	0	1	1
35 東洋学院大学	1	0	0	0	1
36 北陸大学	1	0	0	0	1
37 同志社大学	0	3	0	0	3
38 日本大学	7	2	0	0	9
39 文京学院大学	1	0	0	0	1
40 中京大学	0	1	0	0	1
41 龍谷大学	0	1	0	0	1
42 佛教大学	0	1	0	0	1
43 淑徳大学	0	1	0	0	1
44 山口県立大学	0	1	0	0	1
45 福岡工業大学	2	2	0	0	4
46 静岡文化芸術大学	0	1	0	0	1
47 岡山理科大学	12	5	0	0	17
48 倉敷芸術科学大学	3	0	0	0	3
49 弘前大学	0	2	0	0	2
50 奈良先端科学技術大学院大学	0	3	0	0	3
51 九州産業大学	0	4	0	0	4
52 長崎短期大学	0	1	0	0	1
53 熊本県立大学	3	0	0	0	3
54 比治山大学・比治山大学短期大学部	2	0	0	0	2
55 崇城大学	1	0	0	0	1
56 国立政策研究所	0	0	0	1	1
57 愛知学泉大学	1	0	0	0	1
58 愛知大学	0	1	0	0	1
59 茨城大学	0	2	0	0	2
60 学習院大学	0	1	0	0	1
61 関西大学	0	1	0	0	1
62 岩手県立大学	0	1	0	0	1
63 岩手大学	1	0	0	0	1
64 金沢工業大学	1	2	0	0	3
65 金沢星稜大学	0	1	0	0	1
66 三重大学	0	3	0	0	3
67 新潟工科大学	0	2	0	0	2
68 神戸松蔭女子学院大学	0	1	0	0	1
69 仁愛女子短期大学	1	0	0	0	1
70 精華女子短期大学	1	0	0	0	1
71 青森中央学院大学	0	3	0	0	3
72 青森中央短期大学	0	1	0	0	1
73 千里金蘭大学	0	1	0	0	1
74 大阪音楽大学	1	0	0	0	1
75 筑紫女学園大学	0	1	0	0	1
76 長崎大学	2	0	0	0	2
77 東京大学	1	0	0	1	2
78 福井工業大学	1	0	0	0	1
79 福岡歯科大学	2	2	0	0	4
80 福岡大学	1	1	0	0	2
81 名城大学	0	1	0	0	1
82 國學院大學北海道短期大学部	0	1	0	0	1
83 近畿大学豊岡短期大学	1	0	0	0	1
84 大阪経済大学	0	3	0	0	3
85 兵庫医療大学	2	0	0	0	2
合計	83	114	0	4	201

## SPODフォーラム2015 プログラム

平成27年7月30日現在

	番号	プログラム名	受付人数	定員
8月26日(水)1時限	2601A	学生の学習意欲を促進する授業設計	31	32
	2601B	研究支援職員としての基礎知識-ゼロから始める研究者との協働-	24	28
	2601C	社会連携系職員養成プログラム レベル I 「地域特性論」-地方創生・地域資源を活用した地域の活性化-	43	40
	2601D	学生の学びやすさと学習意欲を高める授業設計-課題分析図の活用-	30	32
	2601E	大人数講義法の基本	30	60
	2601F	教学IRにおけるリサーチ・クエストの作り方:教育改善の実現に向けて	37	36
8月26日(水)2時限	2602A	理系講義形式授業において学生の学習を促進する授業デザイン	29	30
	2602B	若手職員に贈るチームワーク入門「目の前の仕事をこなす」からのステップアップ	24	28
	2602C	学生のキャリア形成支援	40	40
	2602D	相互理解を通じたチーム力向上-自己理解・他者理解に役立つ視点の提供-	20	20
	2602E	教育改善のためのIR活用	60	60
	2602F	国際連携系職員養成プログラム レベル I ①「外国人受入入門」-留学生の受入 A to Z-	36	36
8月26日(水)3時限	2603A	ジグソー学習法を用いたグループワークの進め方	20	20
	2603C	ケースで学ぶ大学リーダーシップ	38	40
	2603D	事例報告「学習成果の可視化にむけて」	52	40
	2603F	国際連携系職員養成プログラム レベル I ②「海外派遣入門」	34	36
8月27日(木)1時限	2701A	橋本メソッドを反転授業でやろう!!	40	40
	2701B	プロジェクトを成功に導くマネジメントとデザイン思考	30	30
	2701C	人材育成のための人事評価-評価の心構えとその手法-	33	40
	2701D	ルーブリック評価入門-考える、つくる、活用する-	40	40
	2701E	大学図書館での学習支援-限られたスタッフ・予算・時間の中での創り出し方-	31	30
	2701F	アクティブラーニング-効果的な学習課題の作り方-	36	36
8月27日(木)2時限	2702A	大学版反転授業TBL:チーム基盤型学習の手法	39	40
	2702B	会議を有意義な時間にするためのマネジメント手法	30	30
	2702D	始めよう!アクティブ・ラーニング-協同学習・文章作成の技法編-	30	30
	2702E	学習成果の可視化とポートフォリオ	50	50
	2702F	大学の危機管理-事例から考えるハラスメント-	36	36
	2702G	トップリーダーセミナー 学習成果をめぐる国内外の動向-学内・国内・国際社会における合意形成のアプローチ-	56	80
	2703H	シンポジウム:「学びの成果をどう可視化し、組織的な教学改善を推進するか」	203	200
8月28日(金)1時限	2801A	学びを促進するための学習支援とアカデミック・アドバイザー	39	40
	2801B	教育データ解釈法入門:学びの成果の量的指標を読み解くために	36	36
	2801C	部下・若手職員の育成-自ら学び成長する-	30	30
	2801D	グラフィック・シラバスを作ろう!	24	36
	2801E	障がい学生への配慮と大学教育の本質	43	60
	2801F	大学組織論-大学!はどのような論理で動くのか-	36	36
8月28日(金)2時限	2802A	テーマ別ラウンドテーブル「映像を活用した授業・研修」	30	40
	2802B	ワールド・カフェ-SDについて語ろう-	37	40
	2802C	テーマ別ラウンドテーブル「学生支援の現状と課題-私たちにできることは?」	38	40
	2802D	テーマ別ラウンドテーブル「学びの成果をどう可視化するのか?」	41	40
合計			1556	1658

SPODフォーラム2015 ポスターセッション申込み一覧

受付番号	分類	ポスター番号	テーマ	代表発表者		共同発表者 ※代表発表者と同一機関の場合は所属を省略												
				所属	氏名	加盟校区分	共同発表者1	共同発表者2	共同発表者3	共同発表者4	共同発表者5	共同発表者6	共同発表者7	共同発表者8				
15	1	1	データから考える愛大授業改善	愛媛大学	加地 真弥	加盟校	清水 栄子	小林 忠寛	中井 俊樹									
2	1	2	LMSを使った授業における学習状況の把握について	横浜国立大学	長谷川 紀幸	加盟校外												
5	1	3	企業が求めるコンピテンシーと学生生活において獲得できるコンピテンシーの比較検討	阿南工業高等専門学校	松本 高志	加盟校	小松 実	山田 耕太郎	川畑 成之	菊池 弥生								
9	1	4	教務が担う学習成果の可視化・証明書記載事項の検討	愛知教育大学	中村 章二	加盟校外												
12	1	5	数値化によるコンピテンシー育成成果の可視化	関東学園大学	渡邊 剛央	加盟校外												
13	1	6	比治山型「学修成果の可視化」について～AP採択事業	比治山大学・比治山大学短期大学部	斉藤 克幸	加盟校外												
14	1	7	学修成果可視化への取り組み	福岡歯科大学	内田 竜司	加盟校外												
17	1	8	ライティングセンターを核とした学習成果の可視化	関西大学	西浦 真喜子	加盟校外												
3	1	9	芝浦工大のアクティブ・ラーニングと学修成果の可視化	芝浦工業大学	坂井 直道	加盟校外												
21	1	10	大阪府立大学における学修成果可視化の取組	大阪府立大学	高橋 哲也	加盟校外												
23	1	11	人文科学系学士課程教育における学習成果の検証	学習院大学	篠田 雅人	加盟校外												
19	1	12	タブレットとeポートフォリオを用いた学習成果の可視化	仁愛女子短期大学	田中 洋一	加盟校外												
22	2	13	福井県大学間連携で行うIT作成ワークショップ	福井工業大学	杉原 一臣	加盟校外	福井工業高等専門学校 江本 晃美	田中 洋一	福井県立大学 山川 修									
6	2	14	大学版反転授業TBLを用いた能動的学習の実践例	高知学園短期大学	濱田 美晴	加盟校	三島 弘幸	高知大学 高畑 貴志										
1	2	15	「SD」道場～アクティブ・ラーニング入門」の取組	徳島大学	久保田 祐歌	加盟校	吉田 博											
4	2	16	理工系講義形式授業における教員支援プログラム開発	芝浦工業大学	榊原 暢久	加盟校外												
8	2	17	スクバンジャー・ハントを用いた新任教育職員研修	福岡大学	橋場 論	加盟校外												
10	2	18	行動型、参加型アクティブ・ラーニングとFD、SD	県立広島大学	馬本 勉	加盟校外												
11	2	19	COC事業「地域交流実践演習」の全学的な取り組み	今治明徳短期大学	中居 由香	加盟校	上村 友希	石見 和子	泉 浩徳	井手 克彦	竹田 貴好	寺川 夫央					伊藤 由香利	
18	2	20	九産大初のFD・SD非公認組織その名は「キノコク会」	九州産業大学	一ノ瀬 大一	加盟校外												
24	2	21	教職協働と部署間連携で実現する実践的な人事研修	関西学院大学	中村 洋右	加盟校外												
20	2	22	大学教育における本質的な問いを中心とする授業設計	名古屋大学	中島 英博	加盟校外												
16	2	23	非常勤講師を対象とした組織的なFDの取り組み	追手門学院大学	岸岡 奈津子	加盟校外												
7	2	24	学生に寄り添い、教員と職れるSDの実践と今後の展開	追手門学院大学	吉田 尚子	加盟校外												
27	2	25	追手門学院大学のSD養成への挑戦	追手門学院大学	村上 泰市郎	加盟校外												
25	2	26	愛知大の職員人材育成～キャリアビジョンシート導入～	愛知大学	近藤 智彦	加盟校外												
28	2	27	教職員能力開発拠点「愛媛大学」のSDの取組	愛媛大学	阿部 光伸	加盟校												
26	2	28	愛媛大学が変わる。地域が変わる。～あいたいVOC～	愛媛大学	前田 真	加盟校												

分類	加盟校内	加盟校外	合計
1	2	10	12
2	5	11	16
合計	7	21	28

分類1:学習成果の可視化  
分類2:FD・SD一般

印章省略

愛大学企第 号  
平成27年 月 日四国地区大学教職員能力開発ネットワーク加盟校  
各大学長，短期大学長，高等専門学校長 殿

(四国地区大学教職員能力開発ネットワーク会長)

国立大学法人愛媛大学長

大橋 裕一

平成28年度の負担金算定に係る平成27年5月1日現在の  
教職員数について (依頼)

日頃より、「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」(SPOD)事業に御協力賜りありがとうございます。

さて、標記のことにつきましては、平成27年8月4日開催のネットワークコア運営協議会での検討を踏まえ、今年度と同様に、平成27年5月1日現在の学校基本調査における教職員数に基づき算定する予定であります。

については、別添回答票に必要事項を御記入の上、平成27年9月3日(木)までに、SPOD事務局(spod@stu.ehime-u.ac.jp)あてメールにて御回答願います。

なお、回答票の提出に当たっては、根拠資料として、今年度文部科学省に提出した本年5月1日現在の学生教職員等状況票(高専は学校調査票)の写しを併せて送付願います。

おって、各加盟校の負担金額については、平成28年3月開催予定のネットワーク総会の議を経て最終的に決定いたしますので、念のため申し添えます。

(添付書類)

- 1 SPOD加盟校教職員数回答票
- 2 平成27年度学校基本調査 学生教職員等状況票等様式

(本件担当)

四国地区大学教職員能力開発ネットワーク事務局  
(愛媛大学教育学生支援部教育企画課)

濱元，五貫

〒790-8577 愛媛県松山市文京町3番

TEL: 089-927-9154 (直通)

FAX: 089-927-8100

E-mail: spod@stu.ehime-u.ac.jp

## SPOD加盟校教職員数回答票

大学等名 ※大学名等を記載ください	常勤教員数(H27.5.1現在)				常勤職員数(本務者)			⑧対象教職員数合計 (⑥+⑦)
	①本務者	②附属病院	③附置研究所	⑥対象教員数 (①-②-③)	④事務系	⑤教務系	⑦対象職員数 (④+⑤)	
				0			0	0

## 【留意事項】

(1)回答票の作成に当たっては、別添「学生教職員等状況票」または「学校調査票」を参考に、上記網掛け部分(「大学等名」及び「教職員数①～⑤」)について、各大学等における該当教職員数を入力ください。

なお、「⑥対象教員数」、「⑦対象職員数」、「⑧対象教職員数合計」は入力不要です(合計数は自動計算します)。

(2)回答票の回答に当たっては、教員数の根拠資料として、平成27年度学校基本調査「学校調査票(大学・短期大学) 学生教職員等状況票」もしくは「学校調査票(高等専門学校)」を回答票と併せて提出ください。

## 高知大学 平成 27 年度学生の学びを支援する授業準備ワークショップ実施要項

## 1. 主催

高知大学 大学教育創造センター

## 2. 期日

平成27年9月2日(水)~9月3日(木)

9月2日 8:45~受付開始 9:00 ~ 17:00 (終了後 交流会 20:00頃まで)

9月3日 9:00 ~ 12:00

\* 9月2日には、夕食をともにしながらの交流会があります。それぞれの部署を越えた新任教員間の関係づくりをめざしています。

## 3. 場所

高知大学朝倉キャンパス共通教育3号館 1階310番教室

## 4. 参加対象者(一度参加した者は除く)

1) 一昨年度から本年度にかけて大学等に採用された教員(授業担当経験5年以上の方を除く)

※大学での教育経験が5年未満の先生方を対象としておりますが、このご案内は、平成22年度以降に着任された方々でご都合により平成22~26年度の研修を受けておられない方すべてにお送りしております。

2) 上記以外で参加を希望する教員

## 5. 定員

40名

## 6. 運営スタッフ

塩崎 俊彦 (高知大学大学教育創造センター 教授)

立川 明 (高知大学大学教育創造センター 准教授)

竹岡 篤永 (高知大学大学教育創造センター 特任助教)

杉田 郁代 (高知大学大学教育創造センター 特任准教授)

俣野 秀典 (高知大学地域協働学部門 講師)

徳弘 英明 (高知大学学務課総務係)

高橋 智子 (高知大学学務課総務係)

## 7. 目的

授業を担当するにあたって必要となる基礎的な知識と技術を学びます。具体的には、授業の構想・設計・実施・評価に関わる一連の過程をグループ作業として体験し、参加者相互の話し合いを経てそれに関する能力を身につけます。

## 8. 研修の目標

- 1) 適切な授業の目的・目標が設定できるようになる。
- 2) わかりやすいシラバスを書けるようになる。
- 3) さまざまな授業方法を知り、目的・目標にあった方法を選択できるようになる。
- 4) さまざまな成績評価の方法を知り、目的・目標あった方法を選択できるようになる。
- 5) 学生参加型のグループワークを体験し、授業に取り入れることができるようになる。

## 9. 研修形態

- 1) 体験型研修です。複数のセッションに分かれて、ミニ講義とグループ作業を繰り返します。
- 2) 異なる学部の教員が、普段着で肩書きなしの対等な意見交換をすることで、研修効果を高めます。
- 3) 研修はグループ学習です。学生参加型授業を体験します。
- 4) グループごとに 10 分間の模擬授業を行います。

## 10. その他

- 1) 『愛媛大学 FD ハンドブック もっと!!授業を良くするために』第一巻をテキストとして使用します。  
当日会場でお渡しします。
- 2) 研修が長時間に渡りますので、普段着でお越しください。
- 3) 当日、カメラとビデオカメラでの撮影を行いますので、了承ください。
- 4) 修了証書は、全日程に参加された方のみ授与されますので、あらかじめ了承ください。
- 5) 参加費として夕食代、お茶代 1 5 0 0 円を徴収いたします。また SPOD 外からの参加の方は参加費が必要です。

## 11. お申し込み・問い合わせ

高知大学学務課総務係 【TEL】 088-844-8144 (直通) 【E-mail】 y-spod@kochi-u.ac.jp

## 12. プログラム日程

別紙資料参照

### 13. 他大学における新任教員プログラムのご案内

1) 高知大学および愛媛大学、徳島大学、香川大学で開催される授業デザインワークショップ、新任教員プログラムは、四国地区教職員能力開発ネットワーク (SPOD) 内で標準化されており、どのプログラムを受講しても同様の効果を得ることができます。

2) 以下のプログラムの受講を希望される方は各大学の申し込み先にご連絡ください。

#### ◆愛媛大学「第24回愛媛大学授業デザインワークショップ」

【日程】7月4日(土)~7月5日(日)

【会場】久万高原ふるさと旅行村(宿泊研修)

【申し込み先・問い合わせ先】 e-Mail: opar@stu.ehime-u.ac.jp

#### ◆愛媛大学「第25回愛媛大学授業デザインワークショップ」

【日程】9月1日(火)~9月3日(木)

【会場】愛媛大学城北キャンパス

【申し込み先・問い合わせ先】 e-Mail: opar@stu.ehime-u.ac.jp

#### ◆徳島大学「授業設計ワークショップ」

【日程】6月20日(土)~6月21日(日)

【会場】徳島大学大学開放実践センター2階(6号館 201)

【申し込み先・問い合わせ先】 徳島大学総合教育センター(担当/吉田) e-Mail:t-spod@cue.tokushima-u.ac.jp

#### ◆香川大学 新任教員研修会「よりよい授業のための FD ワークショップ」

【日程】9月17日(木)~9月18日(金)

【会場】休暇村讃岐五色台(香川県坂出市)

【申し込み先・問い合わせ先】 香川大学教育・学生支援室修学支援グループ e-Mail:gakusenm4@jim.ao.kagawa-u.ac.jp

## 2015 新任教員FDワークショップ スケジュール (別紙資料)

[日時] 2015年9月2日(水)・3日(木)

[会場] 高知大学 朝倉キャンパス共通教育 3号館 1階 310番教室

日程	時間	項目
1日目 9/2(水)	8:45	受付開始
	9:00	開会 高知大学 大学教育創造センター長 藤田 尚文 よりご挨拶
	9:10-9:40(30分)	オリエンテーション／アイスブレイキング「大好きマップ」
	9:40-10:10(30分)	グループワークⅠ「良い授業とは？」
	10:20-11:10(50分)	ミニレクチャーⅠ「目標設定と授業計画、シラバスの書き方」
	11:10-12:10(60分)	グループワークⅡ「共通教育科目の開発①(目標設定と授業計画)」
	12:10-12:30(20分)	ミニレクチャー「コースデザインの考え方」
	12:30-13:30(60分)	昼食 ※食堂や売店等をご利用ください。
	13:30-14:00(30分)	ミニレクチャーⅡ「様々な授業形態、それぞれのメリットとデメリット」
	14:00-14:50(50分)	ミニレクチャーⅢ「様々な成績評価、その目的と方法」
	14:50-15:00(10分)	休憩
	15:00-16:20(80分)	グループワークⅢ「共通教育科目の開発②(授業計画と評価の方法・スケジュール)」
	16:30-17:30(60分)	グループ発表Ⅰ「グループワーク中間報告」
	17:30-20:00頃	グループワークⅣ「共通教育科目の開発③(授業の計画・指導案)」 (お弁当を食べながらの交流会も含みます。) ※夕食は当方で手配いたします。
2日目 9/3(木)	9:00-9:50(50分)	グループワークⅤ「共通教育科目の開発④(最終発表準備)」
	10:00-11:00(60分)	グループ発表Ⅱ
	11:00-12:00(60分)	ふりかえり～今後に向けて～

# 学生の学びを支援する 授業準備ワークショップ

開催日  
2015年  
9/2(水)・3(木)

会場：高知大学朝倉キャンパス共通教育棟3号館1階310番教室  
対象者：新任教員（大学での授業担当経験5年未満）および新たに大学の授業を担当する教員  
交流会：1日目終了後

～お申込み～  
平成27年8月20日（木）まで  
宛先：裏面に記載

高知大学  
朝倉キャンパス  
共通教育棟  
3号館1階  
310番教室

※研修プログラムガイド2015に掲載しておりました開催日が、変更になっています。ご注意ください。

## 1日目 2015年9月2日(水)9:00～17:00

1. オリエンテーション/アイスブレイキング「大好きマップ」
2. グループワーク「良い授業とは？」
3. ミニレクチャー「目標設定と授業計画、シラバスの書き方」
4. グループワーク「共通教育科目の開発①（目標設定と授業計画）」
5. ミニレクチャー「コースデザインの考え方」
6. ミニレクチャー「様々な授業形態、それぞれのメリットとデメリット」
7. ミニレクチャー「様々な成績評価、その目的と方法」
8. グループワーク「共通教育科目の開発②（授業計画と評価の方法・スケジュール）」
9. グループ発表「グループワーク中間報告」
10. グループワーク「共通教育科目の開発③（授業の計画・指導案）」

※終了後 交流会（～20:00頃まで）

## 2日目 2015年9月3日(木)9:00～12:00

11. グループワーク「共通教育科目の開発④（最終発表準備）」
12. グループ発表
13. ふりかえり～今後に向けて～

学生の学びを支援する授業準備ワークショップ

1日目終了後の交流会について

1日目のスケジュール終了後、夕食をとりながら参加者の意見交換や懇親のための交流会を設定しております。

よって、1日目終了時刻は20:00ごろを予定しておりますので、ご了解下さい。

また、夕食代および研修中の飲料等の実費として、当日1,500円を徴収させていただきますので、ご用意くださいますようお願い致します。

大学教育創造センターでは、授業改善や新たな授業に取り組み教員のために、さまざまな支援を行っています。御相談、申込については、下段のメールアドレス宛にお願い致します。

### 授業相談／授業コンサルティングのご案内

授業をやっていく上での疑問やお悩みなどのご相談に対応しています。お気軽にお問い合わせください。

**授業相談**（シラバス・授業方法などについてご相談に対応します）

**日時：4月13日（月）13:00～15:00**

**会場：共通教育棟1号館2階学務課会議室**

また、授業開始後にも授業改善のための相談を実施します。下記を目途にお申込みください。

**1学期 5月15日（金）まで**

**2学期 10月30日（金）まで**

### グループワーク授業OJTのご案内

本学が取り組んでいるグループワーク型授業について、実際に体験していただきながら、今後の指導のための理解を深めていただくために、当部門ではOn the Job Trainingを実施しております。下記の授業にOJT教員として参加していただき、グループワーク型授業の考え方や進め方などを経験することができます。

### OJT対象授業（1学期開講分）

環境を考える：木曜4時限

課題探求実践セミナー（自由探求学習Ⅰ）：木曜4・5時限（隔週開講）

課題探求実践セミナー（学びを創る）：金曜4時限

### \*お申込み・お問い合わせ先

高知大学 学務課教育支援室総務係

〒780-8520

高知県高知市曙町2丁目5-1

Tel：088-844-8144

E-mail：y-spod@kochi-u.ac.jp

### 平成27年度高知大学セミナー表

日時		場所	研修	担当教員
9月2日(水) ～9月3日(木)	9:00 ～12:00	310	学生の学びを支援する授業準備ワークショップ	塩崎俊彦・立川明・俣野秀典 (大学教育創造センター)
9月3日(水)	13:30 ～15:30	310	講義に小グループ・ペア学習を取り入れた授業デザイン ～考え方と進め方～	俣野秀典 (大学教育創造センター)
9月8日(火)	13:30 ～15:30	310	授業効果を高めるために授業の最初にすべきこと ～質問が出る教室づくり～	立川明 (大学教育創造センター)
9月30日(火)	13:30 ～17:00	農学部 (未定)	TA講習	立川明 (大学教育創造センター)
1月20日(水)	13:30 ～16:00	310 (予定)	学生の学びを引き出すためのシラバスの書き方	塩崎俊彦・立川明・俣野秀典 (大学教育創造センター)
2月9日(火) ～2月10日(水)	10:00 ～17:00	310	ファシリテーション養成道場	俣野秀典・塩崎俊彦 (大学教育創造センター)
3月24日(木)	9:30 ～12:30	310 (予定)	初年次科目のためのグループワークの技法	塩崎俊彦・立川明・俣野秀典 (大学教育創造センター)
3月24日(木)	13:30 ～18:00	310	能動的学習支援者必須！ グループワークのためのファシリテーション入門	塩崎俊彦・立川明・俣野秀典 (大学教育創造センター)
3月25日(金)	13:30 ～15:30	310	授業効果を高めるために初回の授業ですべきこと ～受講生のやる気スイッチをONにする～	塩崎俊彦・立川明・俣野秀典 (大学教育創造センター)
3月30日(水)	13:30 ～17:00	310 (予定)	TA講習	立川明 (大学教育創造センター)

開催場所<310：（朝倉）共通教育棟3号館1階310番教室>

平成 27 年度香川大学新任教員研修会  
『第 6 回よりよい授業のための F D ワークショップ』実施要項

1. 目的

授業の構想・設計・実施・評価に関わる一連の過程をグループワーク形式で体験し、授業実践のために必要な能力を身につけることを目的とします。

2. 対象者

・香川大学

- 1) 一昨年度から今年度にかけて新規採用された、授業担当または担当予定の教員  
(授業担当経験 3 年以上の教員、本ワークショップ受講修了者を除く)
- 2) 昨年都合により受講できなかった教員
- 3) その他参加を希望する教員

・S P O D 加盟校

参加を希望する教員

3. 日程

平成 27 年 9 月 17 日(木)～18 日(金) (1 泊 2 日)

(詳細は別紙日程表のとおり。)

4. 場所

休暇村讃岐五色台

(〒762-0015 香川県坂出市大屋富町 3042 電話 0877-47-0231)

5. 費用

研修の費用は無料です。

ただし、宿泊・食費等の実費を徴収します。(1 泊 4 食 約 12,000 円)

\*SPOD 加盟校の旅費については、各大学・短大・高専でご負担願います。

6. 修了証書

研修修了者には、修了証書を授与します。

7. 主催

香川大学 大学教育開発センター

8. その他

この研修会は、SPOD(四国地区大学教職員能力開発ネットワーク)の研修プログラムとして、SPOD加盟校に開放し実施します。

研修会の事務については修学支援グループ及び給与福利グループが担当します。

## 日程表プログラム日程

1日目 9月17日(木)

8:20までに香川大学北キャンパス 正門付近に集合

(敬称略)

時刻	内容	講師・司会	場所
8:20-9:15	送迎バス移動, 到着後受付		
9:15-9:30	(1) オリエンテーション ・開会あいさつ ・研修の目的・目標の確認 ・スタッフ紹介とお願い		五色台の間 (中会議室)
9:30-10:00	(2) アイスブレイキング ・自己紹介 ・グループワーク	葛城 浩一	五色台の間 (中会議室)
10:00-10:30	(3) グループワークⅠ 「学生の考える良い授業」	西本 佳代	五色台の間 (中会議室)
10:30-10:40	休憩		
10:40-11:30	(4) 講義Ⅰ「シラバスの書き方」 ・目標設定の立て方 ・授業計画の立て方	葛城 浩一	五色台の間 (中会議室)
11:30-12:20	(5) グループワークⅡ「全学共通科目の開発Ⅰ」 ・目標設定 ・授業計画 ・シラバス作成	スタッフ全員	五色台の間 (中会議室)
12:20-13:20	昼食		
13:20-14:10	(6) 講義Ⅱ「様々な授業方法」 ①学生参加型授業 ・グループ活動の基本 ・学生同士の話し合いを活性化する方法 ② クリッカーの使い方	西本 佳代	五色台の間 (中会議室)
14:10-14:20	休憩		

14:20-15:00	(7) 講義Ⅲ「よりよい成績評価のために」 ・成績評価の目的 ・評価の方法と評価対象	佐藤 慶太	五色台の間 (中会議室)
15:00-16:30	(8) グループワークⅢ「全学共通科目の開発Ⅱ」 ・授業計画と評価計画	スタッフ全員	五色台の間 (中会議室)
16:30-16:50	休憩		
16:50-18:20	(9) グループ発表Ⅰ「中間発表」 ・授業計画のプレゼン ・質疑応答	5分×3 10分×3 石井 知彦	五色台の間 (中会議室)
18:20-19:20	夕食		
19:20-21:00	(10)グループワークⅣ「全学共通科目の開発Ⅲ」 ・授業計画案作成	スタッフ全員	五色台の間 (中会議室)
21:00～	懇親会・入浴・自由時間		赤峰の間

2日目 9月18日(金)

時刻	内容	講師・司会	場所
7:30-8:00	朝食		
8:00-10:00	(11)グループワークV「共通教育科目の開発Ⅳ」 ・役割決定 ・授業の練習	スタッフ全員	五色台の間 (中会議室)
10:00-12:00	(12)グループ発表Ⅱ「最終発表」 ・授業紹介 5分 ・ミニ授業 15分 ・討議・検討 10分	石井 知彦	五色台の間 (中会議室)
12:00-12:30	(13)閉会式 ・グループ作業の振り返り(学んだことは何か?どう実践に活かすか?) ・修了証書授与 ・閉会の言葉		五色台の間 (中会議室)
12:30-13:00	昼食(研修の振り返り)		

13:00 写真撮影・送迎バスにて香川大学まで・解散

## SPOD研修アンケート集計結果

研修名：平成27年度「職員のための講師養成講座」  
 実施日：平成27年6月18日（木）～6月19（金）  
 実施会場：愛媛大学校友会館 2階 サロン  
 アンケート回答者数：11名

## 1. 参加者ご自身について

## (1) 所属先

	回答数	割合
① 4年制大学	11	100.0
② 短期大学	0	0.0
③ 高等専門学校	0	0.0
④ その他( )	0	0.0
計	11	100.0

## (2) 所属先の設置者

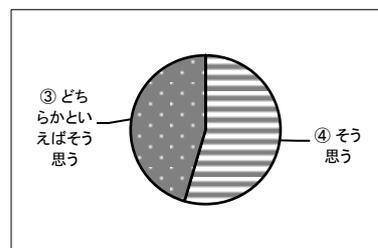
	回答数	割合
① 国(国立大学法人)	11	100.0
② 地方自治体(公立大学法人を含む)	0	0.0
③ 学校法人	0	0.0
④ その他( )	0	0.0
計	11	100.0

(3) 現在のあなたにとってレベルアップが必要なスキルは何ですか。(具体的に)  
別紙記載

## 2. 研修参加への経緯について

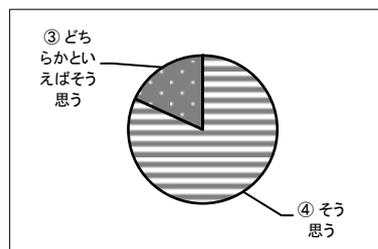
## (1) 研修目的や内容についてある程度知った上で参加した

	回答数	割合
④ そう思う	6	54.5
③ どちらかといえばそう思う	5	45.5
② どちらかといえばそう思わない	0	0.0
① そう思わない	0	0.0
計	11	100.0



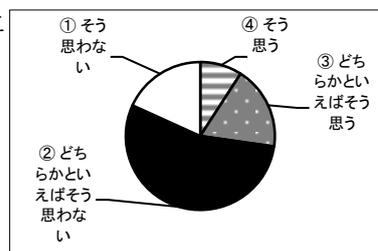
## (2) 自分自身で能力開発の必要性を感じて参加した

	回答数	割合
④ そう思う	9	81.8
③ どちらかといえばそう思う	2	18.2
② どちらかといえばそう思わない	0	0.0
① そう思わない	0	0.0
計	11	100.0



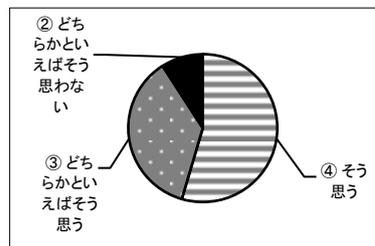
## (3) 研修内容をすぐに活用しなければならない状況で参加した

	回答数	割合
④ そう思う	1	9.1
③ どちらかといえばそう思う	2	18.2
② どちらかといえばそう思わない	6	54.5
① そう思わない	2	18.2
計	11	100.0



(4) 上司はこの研修への参加を肯定的に捉えている

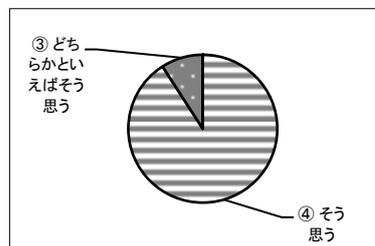
	回答数	割合
④ そう思う	6	54.5
③ どちらかといえばそう思う	4	36.4
② どちらかといえばそう思わない	1	9.1
① そう思わない	0	0.0
計	11	100.0



3. 研修プログラムの設計について

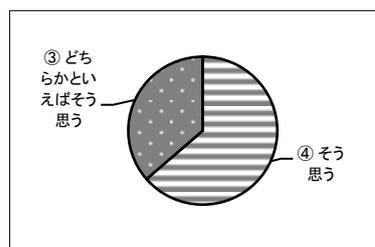
(1) 研修の目的は明確に設定されていた

	回答数	割合
④ そう思う	10	90.9
③ どちらかといえばそう思う	1	9.1
② どちらかといえばそう思わない	0	0.0
① そう思わない	0	0.0
計	11	100.0



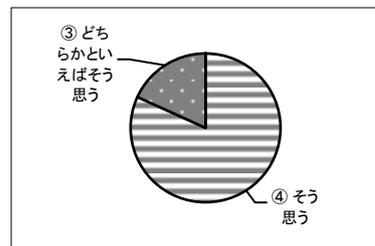
(2) 研修は自分の業務に生かせる内容だった

	回答数	割合
④ そう思う	7	63.6
③ どちらかといえばそう思う	4	36.4
② どちらかといえばそう思わない	0	0.0
① そう思わない	0	0.0
計	11	100.0



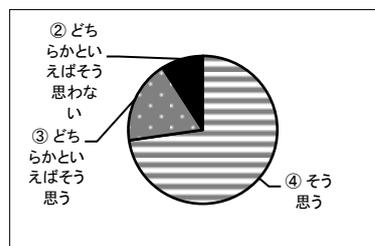
(3) 研修はわかりやすい順序ですすめられた

	回答数	割合
④ そう思う	9	81.8
③ どちらかといえばそう思う	2	18.2
② どちらかといえばそう思わない	0	0.0
① そう思わない	0	0.0
計	11	100.0



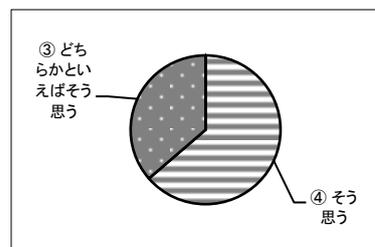
(4) 研修会場は快適な環境だった

	回答数	割合
④ そう思う	8	72.7
③ どちらかといえばそう思う	2	18.2
② どちらかといえばそう思わない	1	9.1
① そう思わない	0	0.0
計	11	100.0



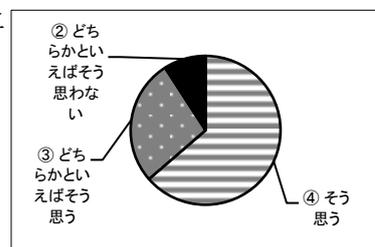
(5) 研修内容は丁度良いレベルに設定されていた

	回答数	割合
④ そう思う	7	63.6
③ どちらかといえばそう思う	4	36.4
② どちらかといえばそう思わない	0	0.0
① そう思わない	0	0.0
計	11	100.0



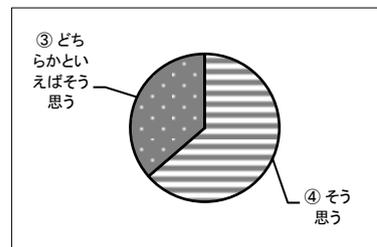
(6) 研修時間は研修目的を達成するために丁度良い長さだった

	回答数	割合
④ そう思う	7	63.6
③ どちらかといえばそう思う	3	27.3
② どちらかといえばそう思わない	1	9.1
① そう思わない	0	0.0
計	11	100.0



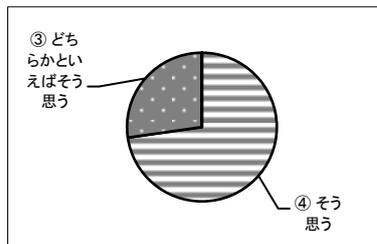
(7) 研修の実施時期は適当だった

	回答数	割合
④ そう思う	7	63.6
③ どちらかといえばそう思う	4	36.4
② どちらかといえばそう思わない	0	0.0
① そう思わない	0	0.0
計	11	100.0



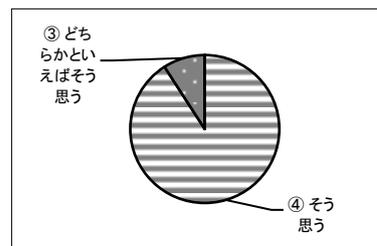
(8) 研修会場には十分な設備が整っていた

	回答数	割合
④ そう思う	8	72.7
③ どちらかといえばそう思う	3	27.3
② どちらかといえばそう思わない	0	0.0
① そう思わない	0	0.0
計	11	100.0



(9) 参加者の人数は適当だった

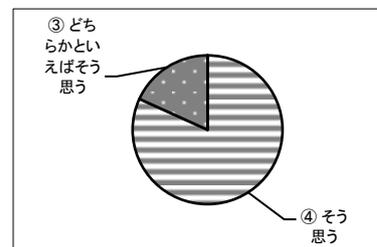
	回答数	割合
④ そう思う	10	90.9
③ どちらかといえばそう思う	1	9.1
② どちらかといえばそう思わない	0	0.0
① そう思わない	0	0.0
計	11	100.0



4. 研修スタッフについて

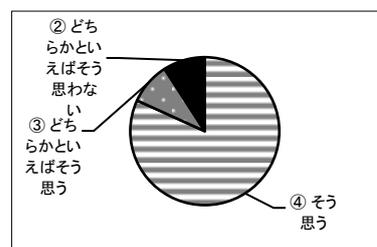
(1) 講師の言動は学習意欲を高めた

	回答数	割合
④ そう思う	9	81.8
③ どちらかといえばそう思う	2	18.2
② どちらかといえばそう思わない	0	0.0
① そう思わない	0	0.0
計	11	100.0



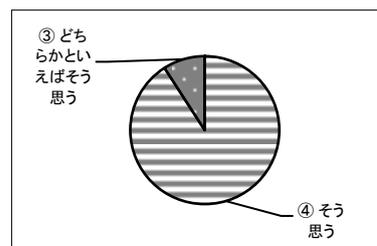
(2) 事務局は手際よく研修を運営していた

	回答数	割合
④ そう思う	9	81.8
③ どちらかといえばそう思う	1	9.1
② どちらかといえばそう思わない	1	9.1
① そう思わない	0	0.0
計	11	100.0



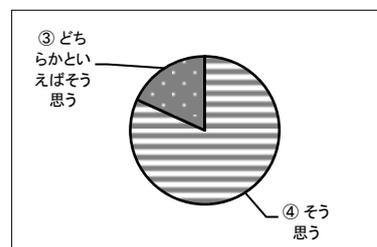
(3) 講師は研修に必要な知識を十分に持っていた

	回答数	割合
④ そう思う	10	90.9
③ どちらかといえばそう思う	1	9.1
② どちらかといえばそう思わない	0	0.0
① そう思わない	0	0.0
計	11	100.0



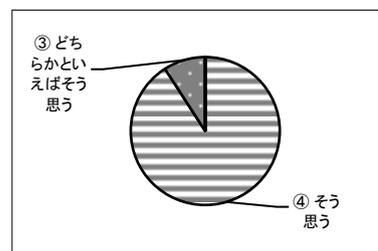
(4) 講師の用意した教材はわかりやすかった

	回答数	割合
④ そう思う	9	81.8
③ どちらかといえばそう思う	2	18.2
② どちらかといえばそう思わない	0	0.0
① そう思わない	0	0.0
計	11	100.0



(5) 事務局の対応は丁寧だった

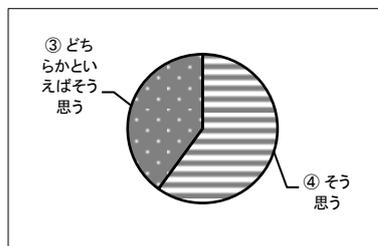
	回答数	割合
④ そう思う	10	90.9
③ どちらかといえばそう思う	1	9.1
② どちらかといえばそう思わない	0	0.0
① そう思わない	0	0.0
計	11	100.0



5. 研修成果について

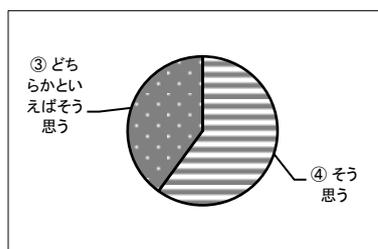
(1) 自分に必要な知識やスキルを身につけることができた

	回答数	割合
④ そう思う	6	54.5
③ どちらかといえばそう思う	4	36.4
② どちらかといえばそう思わない	0	0.0
① そう思わない	0	0.0
計	10	90.9



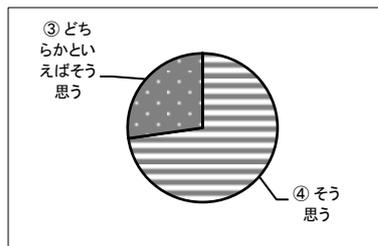
(2) 受講したことによって業務の取り組み方が改善されると思う

	回答数	割合
④ そう思う	6	54.5
③ どちらかといえばそう思う	4	36.4
② どちらかといえばそう思わない	0	0.0
① そう思わない	0	0.0
計	10	90.9



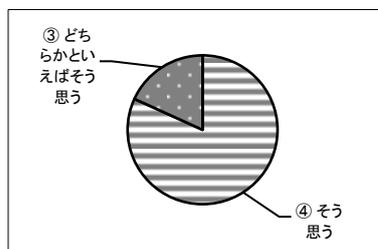
(3) 研修の内容は十分理解できた

	回答数	割合
④ そう思う	8	72.7
③ どちらかといえばそう思う	3	27.3
② どちらかといえばそう思わない	0	0.0
① そう思わない	0	0.0
計	11	100.0



(4) 新たに人的なつながりをつくることができた

	回答数	割合
④ そう思う	9	81.8
③ どちらかといえばそう思う	2	18.2
② どちらかといえばそう思わない	0	0.0
① そう思わない	0	0.0
計	11	100.0



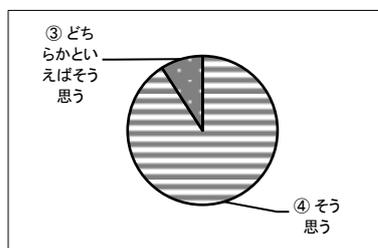
受講して良かったと思われる点を、具体的にお書きください。

別紙記載

6. 研修全体について

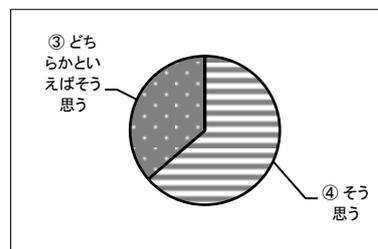
(1) 研修は全体的に満足できるものだった

	回答数	割合
④ そう思う	10	90.9
③ どちらかといえばそう思う	1	9.1
② どちらかといえばそう思わない	0	0.0
① そう思わない	0	0.0
計	11	100.0



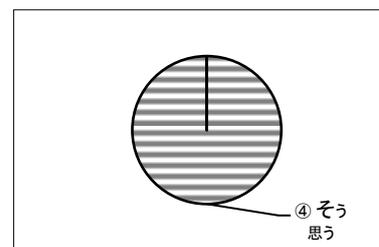
(2) 研修は期待を上回る内容だった

	回答数	割合
④ そう思う	7	63.6
③ どちらかといえばそう思う	4	36.4
② どちらかといえばそう思わない	0	0.0
① そう思わない	0	0.0
計	11	100.0



(3) 今後もこの研修を継続していくべきだと思う

	回答数	割合
④ そう思う	11	100.0
③ どちらかといえばそう思う	0	0.0
② どちらかといえばそう思わない	0	0.0
① そう思わない	0	0.0
計	11	100.0



研修をよりよいものとするために改善すべき点があれば、具体的にお書きください。

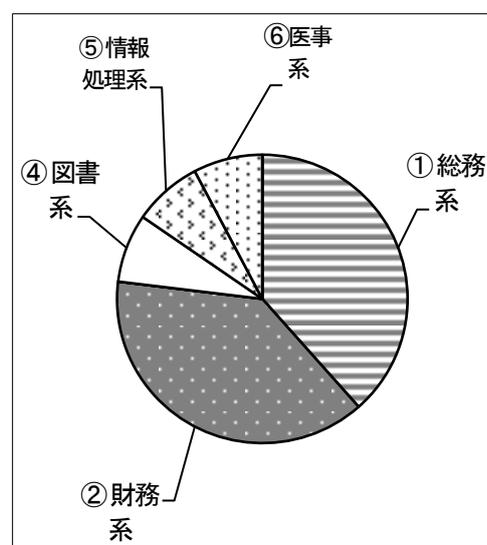
別紙記載

## 7. SPODにおけるSDプログラム開発について

今後、SPODにおいて専門職養成プログラムを開発する予定ですが、どのような分野のSDプログラムが必要だと思いますか。（複数回答可）

	回答数	割合
① 総務系	5	45.5
② 財務系	5	45.5
③ 施設系	0	0.0
④ 図書系	1	9.1
⑤ 情報処理系	1	9.1
⑥ 医事系	1	9.1
⑦ その他	0	0.0

⑦その他



1 (3) 現在のあなたにとってレベルアップが必要なスキル・知識は何ですか。(具体的に)

- ・ 人前力 (2)
- ・ プレゼンテーション能力 (2)
- ・ 物事を深い部分まで考える力
- ・ 話の構成をきちんと作った上で、その説明ができる力
- ・ 内容に筋道をたて、与えられた時間で話す
- ・ インストラクションスキル
- ・ 企画力
- ・ 話し方 (速さ・抑揚)
- ・ 見やすい資料の作り方
- ・ 論理的思考

5. 受講して良かったと思われる点を、具体的にお書き下さい。

- ・ 自分が気付いてなかった点を指摘してもらえた。(3)
- ・ 自分の表情をビデオで見ることで、客観的に見ることができ良かった。(2)
- ・ 人とのつながりができた。(2)
- ・ 自分の直すべきポイント、継続すべきポイントが明確になった。(3)
- ・ 話を組み立て、つなげていく難しさを痛感し勉強したいと思えた。
- ・ 「なんとかできる」という考え方を打ち砕いてくれた。
- ・ 受講前に比べて、話せるようになったと実感できたこと。
- ・ 相手に話をつたえることの大切さと難しさを感じた。
- ・ 受講者数が少人数で、指導が全員に万全に行き届いており良かった。
- ・ 講師の先生がプロで素晴らしく、事務局の運営も完璧だった。
- ・ ワークが多く、自分で考えることができる内容で、楽しく受講できた。

6. 研修をよりよいものとするために改善すべき点があれば、具体的にお書き下さい。

- ・ 最後にもビデオを撮ってもらいたい。
- ・ 話し方に焦点を絞っていたが、見せ方 (資料の作り方・身だしなみ) についても触れて欲しい。
- ・ 企画方法 (テーマの作り方) も学びたかった。
- ・ 全体的にもっと時間があっても良かったと思う。
- ・ 資料が多い。

## SPODアンケート集計結果

研修名：「大学人・社会人としての基礎力養成プログラム」見直しワークショップ  
 実施日：平成27年6月25日（木）～6月26日（金）  
 実施会場：愛媛大学校友会館2階サロン  
 アンケート回答者数：13名

## 1. 参加者ご自身について

## (1) 所属先

	回答数	割合
① SPOD加盟校	10	76.9
② SPOD加盟校外	3	23.1
計	13	100.0

## (2) 所属先

	回答数	割合
① 4年制大学	11	84.6
② 短期大学	1	7.7
③ 高等専門学校	1	7.7
④ その他（ ）	0	0.0
計	13	100.0

## (3) 所属先の設置者

	回答数	割合
① 国（国立大学法人）	6	46.2
② 地方自治体（公立大学法人を含む）	3	23.1
③ 学校法人	4	30.8
④ その他（独立行政法人）	0	0.0
計	13	100.0

## (4) 本プログラム参加の理由をお教え下さい。（具体的に）

別紙記載

## (5) 貴学のSDの実施状況・課題をお教え下さい。（具体的に）

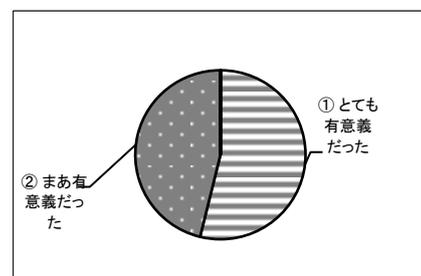
別紙記載

## 2. ワークショップについて

## (1) ワークショップの内容はあなたにとって有意義なものでしたか。

	回答数	割合
① とても有意義だった	7	53.8
② まあ有意義だった	6	46.2
③ あまり有意義ではなかった	0	0.0
④ 全く有意義ではなかった	0	0.0
計	13	100.0

・有意義だった内容、有意義でなかった内容 別紙記載

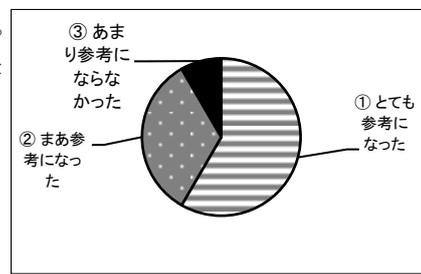


## (2) ワークショップは今後のSDマップを開発するのに参考になりましたか。

	回答数	割合
① とても参考になった	7	58.3
② まあ参考になった	4	33.3
③ あまり参考にならなかった	1	8.3
④ 全く参考にならなかった	0	0.0
計	12	100.0

・参考になった内容、参考にならなかった内容 別紙記載

※1名未回答



## (3) 今回のワークショップに参加しての意見・感想・要望などをご自由にお書きください。

別紙記載

## 【自由記述欄】

### 1 (4) 本プログラム参加の理由をお教え下さい。(具体的に)

- ・ 人事課からの指名。(2)
- ・ SD担当者だから。
- ・ 実際にプログラムの講師を務めているため、見直しに参加して意見を伝えたかったため。
- ・ 自大学のSDプログラム開発のため、その手法を体験したかったから。
- ・ SDプログラムの見直しは必要との考えから、講師経験が役に立てばと思い参加しました。
- ・ 養成プログラムの作成の流れについて興味・関心があったから。
- ・ 時代がまた変わろうとしている時にSPODの研修がどう変化しようとしているのかを探りたかった。
- ・ 当初のプログラム開発に関わったので講師を担当してやりづらさを感じたので。
- ・ 本学でもSD推進を考えていきたいという思いが基本的にあるため、プログラムの見直しやその背景などを知る機会となるのではないかと思い、また、SDCの方や取得を目指している方とのネットワークキングも少し期待して参加しました。
- ・ 自校のSDの参考にするため。
- ・ 所属大学のSDプログラム見直し手法を学ぶため。

### 1 (5) 貴学のSDの実施状況・課題をお教え下さい。(具体的に)

- ・ SDは全く実施されていない。組織として、まず必要性を認識する必要があると考える。
- ・ 大学独自、国大協、人事院等の研修を組み合わせる研修を行っている。大学独自の研修については、プログラム開発から行っているため、講師の確保も含めて試行錯誤している。
- ・ SPODを中心に実施している状況。職員を将来的にどうするか、どうなって欲しいかを考えた上での計画的なSDが今後の課題か？
- ・ 数多く実施しているが、本当に実務に役立っているか不明。本当に職員のレベルが上がっているか、不明。
- ・ SDはないです。
- ・ 事務職員の人数が少なく、専任の担当者がいないこと。
- ・ 年間数人の職員がSPODの研修会やフォーラムに参加したり、私が短大協会などの部門別研修会に参加するという状況である。各部署内でそれぞれの成果を報告することはあっても事務組織全体で報告したり共有することは殆どないのが現状である。各部署の業務の多忙さ、人員数のこともあり、SDを上げられていないのが課題である。
- ・ SDの取り組みについて、まったく評価の対象になっていない。そのことが原因かどうか不明だが、若手・中堅の研修受講者がほとんどいない。
- ・ 本来先に明確化されているべき個々人の適性や能力の適正な評価、キャリアパス(適正な人事異動)が整備されていない状況で研修が一人歩きしていることが問題。(現在の評価制度には人材育成にうまく繋げていく仕組みが実質的に機能していない。)
- ・ 「研修はあくまで目的達成の手段である」ということが機能していない。(研修が目的化している。)

- ・「SDの義務化」への対策だけではないが、毎年研修プログラムの体系化を目標にあげながら徐々に進歩してはいるが、実際の運営については節制的で職員のモチベーション向上につながっているとは思えない状況です。階層別研修は準備されている（主査，課長補佐，管理職，新任者）が毎年度1階層のみの研修が行われる。その他は外部での研修に数人推薦して参加するということが終わっている。
- ・外注できない内容にどのように対応するか。
- ・2014年度に人材像，育成方針を明確化するとともに，キャリアビジョンシートに基づく育成面談，職務ガイドの作成を行った。2015年度は研修制度の再構築，人事制度の策定が課題となっている。

## 2（1）ワークショップの内容はあなたにとって有意義なものでしたか。

### ■有意義だった内容を具体的にお書き下さい。

- ・研修全体のカリキュラムを見通すことができた。
- ・異なった目線で見直すことは，固定化した考えを取り払うことができ役にたった。
- ・機関や立場を越えて様々な意見を聞くことができた。
- ・多様な視点から意見交換，ディスカッションができた。
- ・モチベーションの維持方法など，自分の特性が理解できた。
- ・プログラムの見直し方法について知ることができた。
- ・講師の方々とのグループワークの中で違った考え方を知れたこと。
- ・研修全体を見ることができたこと。
- ・到達目標を減らせたこと。
- ・スキル（能力）のカテゴリ分類等の考え方
- ・到達目標を考える際に，どんな事に気をつけなければいけないのか知ることができた。
- ・結論を得るまでの議論を通じて共通認識を持てた点。

### ■有意義でなかった内容を具体的にお書き下さい。

- ・具体的なプログラム運営にまで，議論がいかなかったこと。

## 2（2）ワークショップは今後のSDマップを開発するのに参考になりましたか。

### ■参考になった内容を具体的にお書き下さい。

- ・必要とするスキルから考えていく手順が分かった。
- ・到達目標の見直し，整理
- ・講師側が違和感なく講義できる内容に精査できたのでは。
- ・カテゴリーを一つ考えるのにも苦勞し，勉強になった。

### ■参考にならなかった内容を具体的にお書き下さい。

- ・今後，自分自身がSDマップの開発ができるのか不明のため。

## 2 (3) 今回のワークショップに参加しての意見・感想・要望などをご自由にお書き下さい。

- ・職員として必要なスキルを自分自身で見直す良い機会になりました。
- ・SDマップの見直しは、必要なことだと思っていたので、その業務に関わられて良かった。より大学職員のためとなる能力開発につながるプログラムマップが出来上がればと思います。
- ・他大学のモチベーションの高い職員の皆様と交流ができ、大変刺激になりました。
- ・うまくゴールのイメージを持つことが出来ず、3班は迷走してしまった部分がありました。今回の反省点の1つです。お疲れ様でした。
- ・WSのゴールがあまり見えていなかったため、今何の作業をしているのか、今の作業が何に繋がるのか、時折分からなかった。
- ・プログラム及び到達目標のネーミング等は参加者の興味や大学からの派遣の際、とても大切な要素なので、戦略的な点からも考略していただきたい。
- ・レベルに応じた様々な研修があることを再認識できましたので、今のところ新任者研修しか受講できていなかったのも、違うプログラムにも積極的に参加していきたいと思いました。
- ・今回は見直しWSだったため、既存のものから派生した新規項目はあったが、全く新しいプログラムの必要性の議論、開発は行われていない。SPODは四国地区の大学等教職員の能力開発であるので、例えば、「地域」ということについて各大学等で取り組みを行っているとは思いますが、何かプログラムはできないか・・・などと思った。講師経験のある方々の修正案には、納得できることが多かったが、そうでない者は意見が少し出しにくい面もあった。
- ・それぞれのワークが有機的につながり得ていないように感じた。
- ・1日目の進め方について、自分自身の中で理解できなかったのも作業に対するモチベーションが・・・。2日目に到達目標がある程度整理できて良かったです。今後、今回の作業をどう進めていくのか次のプログラムの実施にどう反映されるのか・・・お役に立てることがあれば、また声をかけてください。
- ・実際の作業に入るまでが遠回りに感じました。課題の本質を共有したうえで作業に入るのは必要だと思いますが、本ワークショップの目的が限定的である以上、あそこまで遠回りする必要はなかったかと思います。「2日目の午前中にまとめた、『必要な能力』を高めるためのSDプログラムが現在用意されているのか」という検証も含めて、2日目の午後の作業をした方がよいと思いました。「モチベーション」というキーワードも後半は出てこなくない、全体的な流れが分かりにくかったです。
- ・四国の皆さんは毎回元気だということは知っているつもりでしたが、今回はことさらパワフルさに圧倒されました。今回色々と議論できたことは非常によい経験で、これを自大学に持ち帰り同様のことをしたいとSDCフォローアップの内容でも考えましたが、何かハードルがあり難しくできませんでした。今回も同じ想いでおりますが、戻ればやっぱり同じかな・・・という感想です。が、今後とも継続的に色々と学ばせていただきたいので、よろしくお願いします。

別紙様式1

平成27年 7月30日

## SPOD-SDC認定推薦書

四国地区大学教職員能力開発ネットワーク会長 殿

(所属・職名) 香川大学経営管理室給与福利グループ・リーダー  
(氏名) 田中 正昭



以下の者については、他者の模範となり得る人物であり、下記のSPOD-SDC資格認定基準を満たしますので、スタッフ・ポートフォリオ\*1 を添え、SPOD-SDCに推薦いたします。

(大学名・職名) 香川大学・係長 (氏名) 野口 里美

---

### 記

1. SPOD-SD (又は自大学におけるSD) 講師を務めることができる。
2. 職員のキャリアプランニングをサポートすることができる。
3. 大学等における職員人材育成ビジョンの構築方法について説明することができる。
4. 大学等におけるSDプログラムの企画・立案ができる。
5. スタッフ・ポートフォリオの有益性を説明することができる。

(裏面に活動実績)

\*1 ただし、すでに教員職に就いており、スタッフ・ポートフォリオの作成が難しい場合は、ティーチング・ポートフォリオ、アカデミック・ポートフォリオに置き換えることができるものとする。

以下は、SPOD-SDC 資格認定基準に関わる活動実績

1. SD 講師実績 (日時/研修名/場所) ※SPOD 外での講師経験も可

- ・平成 24 年 7 月 20 日/次世代リーダー養成研修「ワールド・カフェ『リーダーシップを語ろう』」/徳島大学 (SPOD 内研修)
- ・平成 24 年 8 月 23 日/SPOD フォーラム 2012「立場や世代を超えた組織づくりー「ワールド・カフェ」で実現しよう！組織の活性化ー」/徳島大学 (SPOD 内研修)
- ・平成 25 年 4 月 22 日/平成 25 年度 UNGL 教職員スタッフ研修「SP トランプ入門」/佐賀大学/ (SPOD 外研修)
- ・平成 25 年 8 月 20 日/SPOD フォーラム 2013「若手職員に知ってもらいたい『報・連・相』のコツ〜もっと良くなる職場内コミュニケーション〜」/愛媛大学 (SPOD 内研修)
- ・平成 25 年 8 月 22 日/SPOD フォーラム 2013「ツールを使ってコミュニケーション〜自己理解と他者理解〜」/愛媛大学 (SPOD 内研修)
- ・平成 26 年 8 月 28 日/SPOD フォーラム 2014「ツールを使ってコミュニケーション〜自己理解と他者理解〜」/高知大学 (SPOD 内研修)
- ・平成 26 年 7 月 9 日/コミュニケーション・トレーニング「SP トランプを使って自分を知らう」/穴吹医療大学校 (SPOD 外研修)
- ・平成 26 年 9 月 5 日/平成 26 年度香川大学若手職員研修/香川大学 (自大学研修)
- ・平成 26 年 9 月 23 日/UNGL 主催「平成 26 年度コミュニケーション力向上ワークショップ」/小豆島 (SPOD 外研修)
- ・平成 27 年 5 月 14 日/大学人・社会人としての基礎力養成プログラム研修 (レベル I) 【新任職員研修】「コミュニケーション入門」/香川大学 (SPOD 内研修)

2. 職員のキャリアプランニングサポート実績

- ・次世代リーダー養成ゼミナールにおいて平成 25 年 5 月 23 日「メンター入門」を受講し、第 4 期生に対してメンタリングを行った。
- ・平成 26 年 10 月 24, 25 日「SDC 養成講座 in 九州」において「人材育成ビジョンの必要性」及び「人材育成ビジョン作成 WS」を、平成 27 年 2 月 7, 8 日「SDC 養成講座」フォローアップセミナーにおいて「人材育成ビジョン作成 WS」を修了している。また、定期的に職場内で部下とミーティングを行い、キャリアプランのサポートを行っている。

3. 大学等における職員人材育成ビジョンに関わった実績

- ・平成 26 年度教職員能力開発拠点 (愛媛大学教育・学生支援機構教育企画室) 主催、九州で開催された「SDC 養成講座」(平成 26 年 10 月 24, 25 日)において「人材育成ビジョンの必要性」及び「人材育成ビジョン作成 WS」を修了している。
- ・平成 26 年度教職員能力開発拠点 (愛媛大学教育・学生支援機構教育企画室) 主催、大阪で開催された「SDC 養成講座」フォローアップセミナー (平成 27 年 2 月 7, 8 日)において「人材育成ビジョン作成 WS」を修了している。

4. 大学等における SD プログラムの企画・立案の実績

- ・平成 21 年度 SPOD 主催 SPOD-SD 合宿セミナー第 2 回 (平成 21 年 5 月 29, 30 日)、第 3 回 (平成 21 年 7 月 2, 3 日)に参加している。
- ・平成 26 年度自大学若手職員研修 (平成 26 年 9 月 5 日)を企画・立案し、講師を務めた。
- ・平成 26 年度教職員能力開発拠点 (愛媛大学教育・学生支援機構教育企画室) 主催、九州で開催された「SDC 養成講座」(平成 26 年 10 月 24, 25 日)を修了している。
- ・平成 27 年度「大学人・社会人のための基礎力養成プログラム見直しワークショップ」(平成 27 年 6 月 25, 26 日)に参加している。

5. スタッフ・ポートフォリオに関する実績

※1〜4で総合的に基準を満たすと判断した。